

令和元年度第2回まちづくりふれあい懇談会記録書

1. 日 時 令和元年8月6日(火) 午後6時30分～8時00分(1時間30分)
2. 場 所 西コミュニティセンター 洋室1、2
3. 出席者 一般出席者 11人
4. 挨拶・説明
 - 18:30 開会
 - 18:30 市長あいさつ (3分)
 - 18:33 町連あいさつ (2分)
 - 18:35 新庁舎建設に関し寄せられたご質問やご意見等について (19分)
 - 18:54 質疑応答 (31分)
 - 19:26 地域FMラジオでの緊急防災情報の提供 (9分)
 - 19:35 質疑応答 (1分)
 - 19:36 ごみの分別に関する質疑応答 (14分)
 - 19:50 その他質疑応答 (7分)
 - 20:00 市長あいさつ (1分)

【新庁舎建設に関して】

- 網走で津波発生すると3メートル程度と予想されているが、それ以上の津波は想定外ということか。

(市) 津波は色々なメカニズムで発生する。想定される数字を超えるものは想定外ということになるが、その想定外が10メートルなのか、20メートルなのかは見当のつけようがなく、また、すべてのメカニズムが解析されて「これ以上は絶対来ない」というのも誰にもわからないもので、細かい数字の把握はできていない。過去の古い文献、地層などからも大きな津波は経験がない。

- 1950年代にマグニチュード6クラスの地震があった記録が残っている。大きな地震を想定した時に、街中は古い建物が多くので建物の倒壊は当然考えなければならない。大きな津波が押し寄せる時に流氷と共に押し寄せると大きな被害が発生し、これを除去するのに時間と困難性を伴うという研究者の結果があったはずである。こういったことを考慮すると、海拔5mの地に建てることは、職員の招集や被害状況の把握、住民の安否確認、応援要請の判断、避難所の開設に支障なくできると考えているのか。

(市) 金市館ビル跡地周辺敷地での庁舎では、庁舎を一時的な避難の場所ということで話をさせていただいている。市全体での防災の機能としては、潮見にある南出張所も使うことになる。市役所が金市館ビル跡地周辺敷地となってもそこだけで防災対応するというのではない。両方で機能させる必要がある。

流氷については、気象台提供の情報や調査によると、水の勢いよりも家屋が押しつぶされることが大きな被害となるだろうという研究内容だったと聞いている。庁舎への影響は想定が難しいが、一時的な避難所としての防災拠点として進めていきたい。

- 津波が引いた後に流氷だけが残るということは当然想定すべきと思うがどうか。緊急道路が道路として確保できないのではないかと。迅速な対応ができないのではないかと。
(市) 国道と道道が基本的な道路との位置づけなので、網走だけで何かをするというのは難しい。国、道と連携して対応を考えなければならない。庁舎建設にあたって、その協議をするのは難しい。

- 今日の説明では防災について2点しかなかったが、もっと詳しい説明が必要ではないか。
(市) 多かった意見を今お示しした。実際には防災機能に関することも30件近くの質問があった。それらは全て市の公式サイトでお示しする。市の回答も合わせて公開する。

- 現在の本庁舎と西庁舎にいる職員が新庁舎に入るといふことか。現在の職員数はどれぐらいか。
金市館ビル跡地を駐車場にすることについて、この土地は活用するために商店街振興組合に土地を渡したとの事だが、経産省からイベントなどに活用するものとして補助を受けているのではないかと。全面駐車場にしてしまうと経産省との補助金の関係で齟齬が生じないか。
(市) 職員数は正職員350人、臨時職員等が30人。本庁舎と西庁舎に全体の約9割がいるので、およそ三百数十人が執務している。
駐車場については、イベント等にも使うという事で経済産業省に問題ないことを確認済みである。

- 職員は400名近くいる。7000㎡が目安としているが、庁舎の建替えの補助金要綱には人数を基準とした積算方法もある。基準では職員一人当たり35.3㎡だが、職員数がもっと少なくなるとダメということか。
全面駐車場にした場合に、イベントが優先され、市役所の利用者が駐車場が使えないということにならないか。中央商店街振興組合との協議がこれからということだが、所有していない土地を使うという内容の計画を進めることは今までにもあったのか。
(市) 職員数に単位面積を乗じるのは、補助金積算の上限を示している。スペースは確保できると考えている。議会棟も現状の人数に合わせた大きさになることになる。
駐車場については、中央商店街振興組合からは庁舎建設の要望がある。内々では協力いただけるという事を聞いている。

- 一時避難機能の規模が明らかでない中で、上限面積よりも少ない床面積となることは、執務スペースがせまくなるのではないかと。それが心配。高齢者などに優しい庁舎づくりができるのか。
駐車場については何度聞いても「まったく話していない」との事だった。内々の話ということは今初めて聞いた。
進め方として、検討委員会で構想を決めるようだが、どんな庁舎を作るかが決まっていないう中で、場所だけきめるというのは乱暴ではないか。エレベータが複数つくのかということや、一時避難機能の規模については、地域の高齢者や障害者や観光客を想定し

ているというが、対象を定められるのか。避難機能スペースを確保できることを示したうえで場所を決めるべきではないか。

現庁舎跡地は駐車場にするとのことだが、想定を超える津波があったら公用車は全く使えなくなる。

(市) 提案として受け止めさせていただく。検討委員会でも場所の決め方についての考え方として示していきたい。場所について9月をめどにしているが時期をこだわってはいない。

公用車については、市内の事業者と協定を結んでおり、公用車が使えないときの協力体制がある。

● 新庁舎について、こういった機能は備えるということは出すが、規模や想定は出さないのか。

(市) 基本構想をまとめるなかで示していく。

● 概ねこれぐらいの規模ということを示さないと、後々にほころびがでないかが心配している。

● 今日の懇談会は市民向けだと思うが、難しい言葉が多くわからないところがある。わかりやすい言葉で説明してほしい。

7000㎡、7階建てがどれぐらいの大きさかイメージできない。

(市) 説明の言葉について気をつけさせていただく。

何階建てになるかはこれからだが、網走の建物では、ホテルドーミーインが13階建て、4条通りの北都が入っているビルが8階建てぐらい、網走厚生病院は10階建てです。

● 想定外の津波への対応として、庁舎の避難機能の他に、2段構えとして、高台地区へ逃げられるような道路を作ってはどうか。

(市) ご提案として受け止めさせていただく。

市全体の防災関連の話となるが、例えば高層階の建物に逃げさせてもらえるような体制づくりなどが考えられる。